

1. 環境チャレンジ目標2030

環境チャレンジ目標 エコチャレ 2030

目標年度：2030年度

2030年に向けた
環境チャレンジ目標を
2018年度に策定し、
取り組みを
推進しています。



チャレンジ1

2050年度には、
排出量実質ゼロを
目指す!

事業活動における
CO₂排出量を半減!

重点施策

- 設備更新／車両更新
- 省エネチューニング
- 太陽光自家発電・自家消費
- 電気自動車・トラックの導入
- コープでんきへの切替



チャレンジ2

事業活動における
食品廃棄物を半減!

重点施策

- 店舗廃棄重量削減
- フードバンクなどへの食品提供拡大
- 食品リサイクル率向上



チャレンジ3

事業活動における
**プラスチック使用量を
25%削減!**

重点施策

- プラスチック製容器包装の削減
- 再生プラやバイオプラなど代替素材への切り替え推進
- プラ削減につながる商品・サービスの開発・供給促進



チャレンジ4

環境に配慮したエシカルな
商品やサービスの
開発・供給推進!

重点施策

- 環境配慮型のエシカルな商品・サービスの開発・供給推進
- 地産地消の推進



チャレンジ5

組合員とともに
エシカル消費を拡大!

重点施策

- エシカルな商品、エシカルな暮らしのあり方に関する学習・広報の推進
- 組合員とともにエシカル消費を拡大



2.「環境チャレンジ目標2030」にもとづく2022年度計画

〈チャレンジ1〉CO₂排出量を半減!

- 再エネ100%事業所の運営
- 新事業所へ太陽光発電を設置し、自家発電・自家消費施設を増やす
- 省エネサービス等を活用し、継続して各事業所での省エネに注力
- 宅配センターにEVトラック等の電気自動車を導入
- 設備更新の際、省エネ設備への切替えを促進

〈チャレンジ2〉食品廃棄物を半減!

- 食品リサイクルループの取り組みを強化し、食品廃棄物削減・リサイクル率向上を促進
- コープ土づくりセンターの老朽化対応に着手し、さらなる食品リサイクル率向上を目指す

〈チャレンジ3〉プラスチック使用量を25%削減!

- 使い捨てプラ製カトラリー(スプーンやストロー)の配布を中止し、木製や紙製へ切り替え
- 脱プラ商品の開発や包材の薄肉化、畜産ノントレイの導入拡大を促進
- 食品工場の自己生産品(食パン)にて、プラスチック包材の薄肉化を促進
- 「マイバッグ運動NEXT」(「減らす」「増やす」「広める」)の推進強化
- 組合員・職員向け学習会の強化及び「語り手(組合員・職員講師)」の活躍支援

〈チャレンジ4〉環境に配慮したエシカルな商品やサービスの開発・供給推進!

- エシカル強化月間を中心に、エシカルな商品の企画・供給を促進
- 電気の「地産地消」紹介動画の活用、「コープでんき」契約軒数拡大、新たな電源開発を推進
- 東播磨地域「ボトルtoボトル」の取り組み継続、「つめかえパック」回収・リサイクルの取り組み継続
- 寄付機能付きペットボトル回収機の設置(及び寄付金の贈呈)、海洋プラかごの設置

〈チャレンジ5〉組合員とともにエシカル消費を拡大!

- エシカルやSDGsに関する学習会(オンライン含む)を実施し、地域全体で取り組みを推進
- フードドライブ常時受付(全コープ店)継続、店舗・宅配での集中取り組みを年2回(9月・1月)開催
- 食品ロス削減に関する連載記事を『きょうどう』にて掲載
- SDGsの普及・推進策としてコープタッチ・アプリの活用、他企業との協同企画による推進を検討
- 地域団体との協同で環境学習(例:コープ龍野「プラエコ」企画)を推進
- 折り込みチラシにて古紙めーむ・宅配内袋の返却を組合員へ呼びかけ、回収率向上を促進
- ラジオ関西にて環境の取り組み(「コープエコのはなし」)を毎月放送
- 2022『コミュニケーションレポート』を発行、組合員や各ステークホルダーとのコミュニケーションを強化